

Press Release

ロングリーチグループ

三洋電機ロジスティクス株式会社の完全子会社化を目指して公開買付けを開始

【東京 / 香港 2010年5月25日】 独立系投資会社ロングリーチグループが運用する投資ファンド傘下にある投資主体が発行済株式総数の100%を所有する株式会社LSホールディングス(以下、「公開買付者」)は、三洋電機ロジスティクス株式会社(JASDAQ: 9379、以下、「三洋電機ロジスティクス」)の発行済株式の全てを取得して三洋電機ロジスティクスを完全子会社化するための一連の取引の一環として、公開買付け(以下、「本公開買付け」)を開始します。三洋電機ロジスティクス公表の平成22年5月25日付「株式会社LSホールディングスによる当社株式に対する公開買付けに関する賛同意見表明のお知らせ」によれば、三洋電機ロジスティクスの取締役会は本日、本公開買付けに賛同すること、および三洋電機ロジスティクスの株主に対して本公開買付けへの応募を推奨することを決議したとのことです。


本公開買付けでは、公開買付者が、三洋電機ロジスティクスが保有する自己株式を除く全発行済普通株式を取得し、三洋電機ロジスティクスを完全子会社化し、株式を非公開化するための一連の取引の一環として、三洋電機ロジスティクスの普通株式を1株あたり1,750円で買付けます。本公開買付けにおける普通株式の1株あたりの買付価格は、三洋電機ロジスティクス普通株式の株式会社大阪証券取引所の開設する市場であるJASDAQ(以下、「JASDAQ」)(注)における2010年5月24日の終値に13.49%の、過去3ヶ月の終値の平均値に20.72%のプレミアムを加えた金額に相当します。本公開買付けでは、買付予定数の下限を7,679,800株としており、応募株券等の総数の合計が買付予定数の下限に満たない場合は、応募株券等の全部の買付けを行いません。

公開買付者は、三洋電機ロジスティクスの親会社である三洋電機株式会社(以下、「三洋電機」。所有割合58.01%)との間で、2010年5月25日付で公開買付応募契約書を締結し、三洋電機がその所有する三洋電機ロジスティクス株式の全てを本公開買付けに応募する旨の合意をしています。

また、三洋電機ロジスティクス公表の平成22年5月25日付「株式会社LSホールディングスによる当社株式に対する公開買付けに関する賛同意見表明のお知らせ」によれば、三洋電機ロジスティクスは三洋電機との間で2010年5月25日付で事業提携に関する覚書を締結しており、本公開買付け後の一定期間において、三洋電機が一定の条件の下で三洋電機ロジスティクスに対してこれまでと同様の取引関係を継続し、また、三洋電機ロジスティクスはこれまでと基本的に同一の条件で三洋電機のブランド・許諾商標、不動産、ITシステム等を継続して使用することを予定しているとのことです。加えて、三洋電機は、本公開買付け後に公開買付者に対して5%程度の普通株式の出資を行う予定です。

三洋電機ロジスティクスは、三洋電機グループの物流子会社として家電製品を中心とした国内一般物流の事業基盤を確立しています。最近では国内家電3PL(サード・パーティ・ロジスティクス)にビジネスチャンスを見出し、ロジスティクス・ソリューション・プロバイダーとして国内家電量販店の多くの物流を受託し事業を拡大させています。しかしながら、物流業界を取り巻く競争環境は、荷主企業からのコスト削減要求など年々厳しさを増しており、また国内消費市場が低迷する中で地上波デジタルTV特需やエコポイント制度終了後の家電市場における不透明な見通し、主要荷主である電機メーカーの海外への生産拠点移転等、三洋電機ロジスティクスを取り巻く事業環境も予断を許さない状況が続いています。

その一方、物流のアウトソーシング化の流れが加速していることも事実であり、物流事業市場は将来的には更なる拡大が見込まれる状況にあるものと認識しております。このような成長機会を確実に捉え、事業拡大につなげるためには、販売物流から生産物流や調達物流までを網羅した包括的3PLサービス体制の確立、荷主企業の海外市場への事業拡大に対応した海外展開を推進させる必要があります。現下の厳しい経済環境において、三洋電機ロジスティクスが持続的な成長を実現するためには、上場企業とし



て短期的な市場の評価に左右されることなく、中長期的な成長戦略の再構築を推進することが急務であり、そのためには非公開化による機動的な経営体制を整えることが必要となっています。

一方、三洋電機は、昨今の事業環境の変化に対応し、経営資源の集中を加速させる方針の一環として、三洋電機ロジスティクス持分を新たなパートナーに譲渡することを決断するに至りました。ロングリーチグループは、三洋電機より三洋電機ロジスティクス譲渡の可能性について連絡を受けた後、その投資可否について検討を進めてまいりました。そして、三洋電機ロジスティクスを非公開化し、三洋電機グループからの資本独立化を契機に、ロングリーチがその業界ネットワークを駆使し、事業提携、M&Aによる海外展開、資金調達等のノウハウを提供することで、三洋電機ロジスティクスの事業拡大と収益成長につなげることができると思えるに至りました。

本公開買付けの公開買付け期間は、2010年5月26日から同年7月15日までの37営業日です。本公開買付けにおいては買付けを行う株券等の数に上限を設定していないため、本公開買付けの結果、三洋電機ロジスティクス普通株式がJASDAQにおける「JASDAQ等における株券上場廃止基準の特例」に該当した場合に、所定の手続きを経て上場廃止となる可能性があります。また、当該特例に該当しない場合でも、三洋電機ロジスティクスの完全子会社化を予定しているため、その場合には三洋電機ロジスティクスの普通株式は上場廃止となります。

本公開買付けが成立した場合、ロングリーチグループは、本公開買付けの決済後速やかに三洋電機ロジスティクスの臨時株主総会を招集し、ロングリーチグループが指定する者が取締役会の過半数を占めるように取締役を選任する予定です。なお、本公開買付け後の三洋電機ロジスティクス従業員の雇用に関しては、原則として現状維持を前提としています。

本公開買付け成立後、ロングリーチグループは三洋電機ロジスティクスの戦略的パートナーとして今後の中長期的な戦略策定とその実行を支援し、安定的かつ持続的な成長実現を目指してまいります。既存株主の皆様には、三洋電機ロジスティクスの中長期的な成長戦略並びに本公開買付けの趣旨をご理解賜りたいと存じます。

(注)株式会社大阪証券取引所は平成22年4月1日付で株式会社ジャスダック証券取引所を吸収合併したため、平成22年3月31日までの終値については、株式会社ジャスダック証券取引所における株価に基づいています。

###

報道関係者からのお問い合わせ

クレアブ・ギャビン・アンダーソン (服部、和田)

03-5404-0640

ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本およびアジアにおける独自の戦略的プライベート・エクイティ投資を目的として2003年10月に設立された事業支援投資会社です。今後の日本産業の発展を担う企業のグローバルな事業展開を中長期且つ戦略的な視点から支援します。グローバルなネットワークに加え業界知識と地域に根ざした人脈および案件遂行能力を活かし、投資先企業の皆様へ高い付加価値を提供してまいります。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのサポートをしています。

2006年4月に組成された第1号ファンドを通じて、これまでに日本マクドナルド、通信用海底・陸上用ケーブル大手のオーシーシー、モバイルおよびコマース事業を営むサイバード、台湾の安泰銀行、中国のアジア・アルミニウム・グループなど6件の投資案件を手掛けてまいりました。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。